

※裏面に一般入試で今年から課される「点数化される志望理由書と調査書」について書いてあります。

昨年の大学入試試験はどうだったのか？

※参考資料：大学通信

令和2年1月に実施された最後のセンター試験、そして3月まで続いた大学入試は、

- ①センター試験過去最大の受験者減(前年比13000人減)、
- ②難関大受験者減(旧7帝大すべて減は史上初)、
- ③地方国立大、公立大が大人気

という「超安全志向」が予想通りみられたようです。文面上は、「減った」「減少」「敬遠」・・・と試験自体のハードルが下がったような印象をうけますが、**難易度に変更はまったくなく、「しっかり勉強した人が合格する」**入試でした。そんな中でも、とくに際立っていたものが、**私立大学の繰り上げ合格(追加合格)の増加**です。全国的に人気の高い3大学(上智大、立教大、明治大)の例を紹介します。

繰り上げ合格とは、合格発表時に「補欠合格」となった受験生が、その後(これは大学によるがおおむね3月中旬)に「あなたは合格者に繰り上がりました」と連絡がくるものです。ちなみに、上智大学の繰り上げ合格者(やっぱり合格)、何名いると思いますか？なんと1750人です。明治大学は1000人、立教大学においては2000人です。そして、繰り上げ合格者の前年比は3大学とも大幅に増加しています。(上智+959、明治+300、立教+1000)。ちなみに早稲田大は1000名の追加合格(2020年5月8日発表)。この要因として、難関私大のGMARCHの受験者が減ったことが挙げられます。

※GMARCH…学習院、明治、青山学院、立教、中央、法政の6大学。都心にあり、全国の高校生が「目標」とする大規模な難関私立大学。新北からは昨年度5名進学(中央1、青学1、法政3)。

○なぜ繰り上げ合格(追加合格)が増加？(進路指導課の解釈も含む)

私立大学入試は複数校を併願します。そして、受験生は学力で①上位組と②チャレンジ組がいます。例年だとチャレンジ組が多く受験しており、GMARCHのどれか合格したら手続きして受験終了！となっていたのです。しかし、昨年度は**難関大学を敬遠した受験生が増加しました**。分かりやすく言えば、「**確実に合格をとっておきたい**」という上位組(例年なら受験しない)が、**多く受験し、そして合格**。チャレンジ組(合格するか分からない)は、「**補欠合格**」にまわりました。補欠合格とは、文字通り「補欠」の合格で、3月ごろに追加合格の連絡がくるものです。そして上位組は、国公立大学や他大学の合格をみて入学手続きをとります。つまり、上位組が他大学(国公立大や最難関の私大)に合格したため、追加合格が増えたと分析されています。GMARCHに限らず、本校でも第一志望の私立大学を3月になって繰り上げ合格し、そこに入学した生徒が複数名います。**やはり受験は最後まで分かりません**。

今年の大学入試試験はどうか？ すべて予想ですが**3年生、ぜひ読んで！！**

①今年も“安全志向”が継続する

大学入学共通テストの目標平均点（作問側が意図する平均点）は、**50点**です。センター試験の例年の平均点が60～65点ですので、全体的に平均点ダウンです。試験の形式が変わるので、一概にいえませんが、平均点が下がると「安全志向」になります。でも、**点数をとる人はたくさんいる**。3年生のみなさん、共通テストで得点することが最重要です。そのための「今から」です。

②今年も地方国立大、公立大が人気になる

コロナ禍の影響で、全国的に首都圏への進学を回避する家庭が増えると思われます。オンライン授業も各大学で実施していますが、さらに「地元での国立大」人気が増加しそうです。また、平均点ダウンは首都圏から受験生が移動します。地元大志望の3年生、「今から」が勝負どころ。

③総合型選抜、学校推薦型選抜、指定校推薦を利用する生徒増加

国立大学では定員の30%、私立大学ではルール上は「定員いっぱいまで」、総合型選抜で入学生を確保できます。**私立専願の受験生は、はやめに進路決定に動きます**。特に私立大学が立地している都市部の高校生にとって、自宅から通学できる「地元の大学」であるため、かなり増加すると思います。進路希望がはっきりしている3年生、受験合格の鉄則は「フライング」です。カンニングはダメですが、**受験にフライングは許されます**。はやめ、はやめに。困ったら担任へ相談。

④情報系の学部の人気がさらに増加。資格取得学部も人気に。…理系の生徒、要注意

2年前から顕著に出ている傾向ですが、この数週間の状況を考えると、さらに増加しそうです。また、10年以上前になりますがリーマンショックの後、日本は不況になりました。今回のコロナ禍で不況になれば、大学入試も同じ状況になると思われます。リーマンショックの時は、理系学部が大人気で、特に資格に直結する看護系、教員養成系や就職に強い工学部系で倍率があがりました。看護医療系の人材確保は、国の急務でしょう。ここ2年ほど「AI」や「人口知能」「情報〇〇」という名前の学部が急増しています。理系の3年生のみなさん、情報系は学部が多岐に及びます。よく調べて進路を選択すべきです。

⑤数学ⅠAが難化する…文系の生徒、要注意

共通テストの大きな変更点は、数学ⅠAの試験時間が70分になったということです。問題数も増え、内容も濃くなることが予想されます。数学ⅠAの難易度は、例年文系の受験生の動向を左右します。3年生文系のみなさん、数学を最後までやり続けた生徒こそ、文系ならではの合格があります。これは文系の生徒だけにあたえられるものです。

⑥一般選抜でも「志望理由書」が必要 【確定＆重要】

詳細は裏面にあります。3年生、熟読です。

などが予想されます。さらに大学入試での変更（もはや混乱？）があることが予想され、さらに「9月入学」まで……。これ以上？と思うかもしれませんが、3年生のみなさん、大丈夫です。情報は武器です。

【進路課紹介 ～新しい先生方から一言～】 ※きよかずチャンネルにも出演しました。

★佐々木 泰 先生（社会科）

主に推薦入試を担当します。奨学金にも詳しい方です。3年生とは、副担任といこともあり、よく顔をあわせます。最近はプロレス観戦をしています。3年生、「トランキーロ」。

☆柴崎 彩 先生（国語科）

主に就職と公務員を担当します。看護体験では1, 2年生とも会う機会があると思います。気軽に進路室に足を運んでください。最近は、原田マハに「マハまり」中です。

主体性は、一般選抜でも……新北に届いた弘前大の入学者選抜要項【暫定版】を読む

（１）一般入試は筆記試験の点数だけではなくなる

〇〇の研究したい、将来は▲▲と目指し・・・といった言葉で、大学での学びや将来のビジョンを語るの、主に推薦入試（学校推薦型選抜）やAO入試（総合型選抜）の面接においてでした。これらの入試には、必ず「志望理由書」の提出が課され、その文書と面接で合格者を決定していました。対して、一般入試（一般選抜）で志望理由書を課するのは医学部ぐらいでした。しかし、今年度の入試より、一般選抜でも志望理由書の提出が求められ、調査書とともに点数化されます。

	昔		今	
	推薦・AO	一般（筆記）	推薦・総合	一般（筆記）
志望理由書	○	×	○	○
学力検査	△※一部で実施	○	○	○

（２）弘前大学の入試制度からみる「志望理由書」と調査書

調査書は点数化される点については、3年生と2年生には対して、進路ガイダンスで説明したことがあります。その時点では詳細未定でしたが、今回、弘前大学から入学者選抜要項【暫定版】が新北高校に届きましたので、その内容を見ながら詳細をご紹介します。※弘前大学には新北高校から今年の3月卒業した生徒は3名（人文、教育、農学）、前年度も3名が進学しています。

なお、暫定版の意味は「現時点のものである、今後の各種募集要項で確認すること」とあります。1つの基準として見てください。

注目点① 総合型選抜の拡大 …… 3割越え。一般選抜の定員が減少

全国の国立大学では総合型選抜（旧AO入試）で定員の3割を確保する方向で動いています。弘前大学では全学部定員（1322名）のうちの32%（428名）を総合型選抜で募集します。総合型選抜は、①共通テストを課さないもの、②共通テストを課すもの、の2種類があります。これは他大学も同じでしょう。また、弘前大学の特徴としては、学校推薦型選抜を実施せず、その分を総合型選抜として実施しています。総合型選抜は「実施時期が早い」のが特徴で、弘前大学は9月7日～願書受付、10月17日試験、11月5日合格発表です（現時点）。学校推薦型をとる場合は、試験が11月中旬に実施され、12月上旬に合格発表となります。弘前大学としては、「本大学で学びたい強い志望がある生徒」を募集し、早めに「良い生徒」を確保したいからでしょう。

また、教育学部の実技系（体育、美術、音楽）は一般選抜を実施せず、すべて総合型選抜で定員を満たすことが、弘前大学の特徴です。

注目点② 一般選抜選抜での志望理由書の配点 ※今年的一般選抜の配点

すべて前期日程	共通 テスト	個別 試験	調査書 志望理由書	合計	調査書と志望理由書 の点数化について
人文社会学部 文化創生課程	900	国300 英300	100	1600	出願書類は A～D の4段階評価 A:100点 B:90点 C:80点 D:35点
農学生命科部 食料資源学科	900	理400	50	1450	出願書類は A～D の4段階評価 A:50点 B:40点 C:30点 D:10点
理工学部 数物科（理科）	900	理600	100	1600	出願書類は A～D の4段階評価 A:100点 B:80点 C:60点 D:20点

上記の表は、発表された今年度の配点です。受験の鉄則は、「勝負は1点差で決まる」ですが・・・。

書類その① 調査書

調査書を生徒のみなさんが目にすることはありませんが（学校で厳封して送るため）、内容は主に3つあります。

「学習成績の状況」・・・去年までは評定平均とっていましたが、各教科の高校の評定です。

「特に優れている」段階は、評定平均が4.25以上です。

「指導上参考となる諸事項」・・・高校での様子や探究学習、委員会や各種大会の成績 等

「備考欄」・・・本人がどれくらい進学先に適しているかを記入できる。字数無制限。

です。弘前大学では、「備考欄」は一般選抜では評価対象にしない、としています。**履修状況、教科外の活動、ボランティア活動、各種の資格等の取得を判断基準として「行動力」を評価、とのこと。**

書類その② 志望理由書

これまでの勉学やさまざまな活動を通して得た経験を元に記述、専門分野に対する興味・関心の高さ、アドミッションポリシーとの整合性・・・で「意欲」を評価する、とのこと。ちなみに様式は、ほとんどの学部がExcelのファイルをダウンロードして直接入力し、印刷して出願です。

配点の割合からみて、あくまで予想ですが、①学習成績の状況と指導上参考となる諸事項を4段階で評価、②志望理由書を4段階で評価、を合算して、4段階・・・ではないかと思います。ほとんどの受験生がC以上になる？・・・とにかく、志望理由書は「書けるようになる」必要があります。不安になった3年生にみなさん、次号以降で**推薦でも活用できる「志望理由書の書き方」**を書きます！

まずは共通テスト対策、がんばりましょう！！